

令和5年度 学校経営の概要

上野村立上野小学校
校長 梯 直人

基本理念 上野村に誇りを持ち、ふるさと上野村に心を寄せ続けられる児童生徒の育成

1 学校教育目標

「進んで学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」

(1) 目指す学校の姿

- ・ 活力ある信頼される学校…家庭、地域と協働して質の高い教育を実現し、子どもを育み伸ばす

(2) 目指す子どもの姿

- A 進んで学ぶ子…自ら考え、相手を意識して自分の思いや考えを表現できる
 - B 思いやりのある子…上野村を愛し、礼儀正しく、誰とでも認め合い、励まし合う
 - C じょうぶな体をつくる子…規則正しい生活を送り、進んで体力づくりに取り組む
- ※児童会スローガン 「 Challenge ～やればできる～ 」

(3) 目指す教師の姿

- ・指導力向上を目指す教師…子どもの自ら学ぶ力を引き出し伸ばすために、常に進化しようとする。
- ・子どもへの愛情を有する教師…その子の将来をイメージし、厳しくも温かな指導を行う。
- ・豊かな人間性を有する教師…職務への専念と私生活の豊かさとのバランスを保ち、人間的魅力を高める。
- ・教職員がチームとして望ましい職場環境をつくるとともに、教職の素晴らしさを実感できる働き方を推進する。

2 学校経営の重点

- ・自ら学ぶ力の向上を目指した教育環境(授業・家庭学習・行事・CT)、生活環境の充実。
核となる言葉 → 「自分から」
- ・生活科、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習、教科横断的な学習、上野村とつながる学習の充実。
- ・ICTの活用によるユニバーサルデザインの視点を生かした授業(個別最適な学び・協働的な学び)の充実。
- ・コミュニティ・スクールを基盤とした保・小・中学校・家庭・地域の協働による教育活動の拡大と充実。
- ・学び合い、指導力を高め合う質の高い教師集団づくり。

3 学校教育目標達成に向けた具体的な取組

A 学力向上推進部会と校内研修の連動による組織的・継続的な学習意欲及び学力向上策の実践を行う。

- ・教科等間、教科等と行事、教科等と地域産業・自然環境との関連付けを、今年度のねらいを中心に見える化した単元配列表の活用。
- ・ICTの特性や強みを生かす授業の定着、個に応じたデジタルドリル学習、理解を深めるタブレットの活用による「学びたくなる」授業の推進。
- ・教育課程特例校としての取組の充実(ALTの効果的な活用、教材の工夫、実生活と関連付けた英語で伝えたい発表機会の設定等)による、コミュニケーションに対する意欲の向上。
- ・「花まる学習」のよさ(自由な発想、試行錯誤、協働学習等)を生かした授業による学習意欲、思考力等の向上。
- ・学習の仕方や学校での様子の発信、明日の授業に生きる家庭学習の実施、家庭と学校の協働による自ら学ぶ家庭学習の充実。
- ・昼活動の工夫・充実、漢字・計算テストの定期的な実施と進んでChallengeしたくなる場の工夫による、基礎・基本の定着。

- ・研修会や授業研究会の合同開催による保小中学校、多野郡教育研究会の連携及び授業力の向上。
- ・「スタートカリキュラム」、「幼保小の架け橋プログラム」を意識した活動の推進。

B 道徳教育や体験学習等の充実により、認め合い、励まし合う児童を育成する。

- ・道徳科における校内での共通実践、日常の指導や行事との関連付けを意識した道徳教育の推進。
- ・ねらいを明確にした子ども主体の縦割り班活動や学校行事の実施
- ・地域人材や自然環境を活用した上野村への理解とつながりを深める体験活動の充実。
- ・生徒指導の3つの機能を生じた、報・連・相と迅速で組織的な生徒指導の推進。
- ・児童会スローガン「Challenge」を合い言葉にした、個々の挑戦の場、活躍の場の設定。
- ・図書館、学級文庫の利活用の推進と「読書の日」、「家読(うちどく)の日」の取組による家庭と協働した読書活動の推進。

C 家庭や地域と協働した取組により、進んで健康・安全管理、体力づくりに取り組む児童を育成する。

- ・体育の授業、CT、拡大休み時間等における活動の充実による体力向上。
- ・給食指導を軸とした食育、保健委員会を軸とした健康・安全・衛生指導の推進。
- ・保小中学校合同引き渡し訓練、避難訓練、定期点検、交通指導等の充実による安全な環境づくり。
- ・連絡協議会における情報及び指導方針の共有、学校行事への協力による「かじかの里学園」との連携強化。